
加代子

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

加代子

【Nコード】

N2289Q

【作者名】

ごはんライス

【あらすじ】

ショートコント

だからあらすじはないよ。

（前書き）

前書きとこの前遊園地に行ったら前書きのやつジェットコースターの乗りすぎでゲロ吐いてたぞ

加代子がスーパーで買い物してるとき、お隣の加代子さんに会った。
お隣の加代子さんは加代子より五歳若く新妻だ。

二人は仲良く買い物したあと、お隣の加代子さんが服屋に行くというので別れた。

途中で、息子たけしの同級生加代子ちゃんに会った。

「加代子ちゃん。どこ行くの」

「塾」

「えらいわねえ」

たけしも加代子ちゃんみたいに塾に通わせようかしらと加代子思う。そういえばお隣の加代子さんも娘を中学受験に向け塾に通わすと言っていた。

ただこの前の家庭訪問のとき、たけしの担任の加代子先生がたけしくんは成績優秀ですので塾に行く必要がないですよと言っていた。たけしは頭がいいかもしれないけど家でまったく勉強しないのも問題だ。でも加代子先生がそう言うならねえ、とも加代子と思う。でも加代子ちゃんみたいに塾で勉強してほしいし、加代子さんのところも通わすと言ってるし、加代子先生はああ言うけど……。何だかわからないけど加代子はイライラしてきた。

ケータイが鳴る。

「もしもし。あら。あなた」

「加代子。飯まだかよ。加代子腹へった。加代子。早く飯食いたい。」

加代子。加代子。聞ってる？」

「加代子加代子やかましい！」

加代子はケータイをアスファルトに叩きつけた。

（後書き）

後書きが、この前、前書きとデパートしてるのを目撃。ボコボコに
てやった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2289q/>

加代子

2011年1月19日10時22分発行